

## 平成 26 年度第 1 回女川町地域公共交通会議 議事録

1 日 時 平成 27 年 2 月 13 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 10 分

2 場 所 女川町役場仮設庁舎 2 階 第 2 会議室 A

### 3 出席者

#### ○委員

女川町	副町長	阿部 一正
女川町行政区長会	会長	齋藤 俊美
女川町社会福祉協議会	会長	阿部 恵子
ミヤコーバス株式会社	石巻営業所長	山崎 強
(代理出席)	取締役 石巻・登米地区支配人	佐々木 正幸
株式会社黄金バス	代表取締役	木村 洋之
株式会社黄金タクシー	代表取締役	木村 信雄
(代理出席)	副社長	木村 寛一
東北運輸局宮城運輸支局	首席運輸企画専門官	早川 勤也
宮城県東部土木事務所	技術次長	佐々木 保
石巻警察署	交通課長	三浦 雅邦
宮城県震災・復興企画部	総合交通対策課長補佐	大槻 基
公立学校法人宮城大学	教授	徳永 幸之（欠席）

### 4 議事要旨

#### (1) 開会

#### ○事務局

・皆様、本日はお集まりいただきましてありがとうございます。定刻よりも若干早いですが、本日御出席いただける方々が全員揃いましたので開催させていただきたいと思います。

只今より、平成 26 年度第 1 回女川町地域交通会議を開催致します。開催に先立ちまして、昨年 4 月 1 日付けで人事異動により、宮城県東部土木事務所の技術次長様、宮城県石巻警察署の交通課長様、宮城県総合交通対策課長補佐様が変更になっておりますので、ここで委嘱状の交付を行わせていただきたいと思います。委嘱状は町長に代わりまして、阿部副町長から交付させていただきたいと思います。

#### ○委嘱状の交付

・委員に対して委嘱状を交付した。

#### ○事務局

・それでは、会長の阿部副町長からご挨拶致します。

## (2) あいさつ

### ○会長

- ・委員の皆様には大変お忙しい中、本日の会議に御出席いただきましてありがとうございます。只今、3名の新しい委員ということで、委嘱状を交付させていただきました。委嘱期間はとりあえず残任期間ということで、来月いっぱいということですが、また改めて4月から再出発させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- ・平成25年9月にこの会議を立ち上げて以来、審議を重ねていただきながら、平成26年2月に、女川町地域公共交通ネットワーク計画を策定させていただきました。現在はその計画に基づき、バスの車両を増車した中で、昨年9月から改正ダイヤで運行している状況です。本日の会議では、バスの改正ダイヤの利用状況、利用者からのアンケート調査結果等、改正後の報告を兼ねた会議にしたいと思っております。来月の21日にJR石巻線の女川駅が開業するというので、女川駅までのバス運行を考えるということで、運行ダイヤの再検討について、協議していただくということになります。
- ・短い時間ではございますが忌憚のない御意見をいただきながら、町民にとってのより良いバス運行が実現できればと思っています。今日はよろしくお願いいたします。

### ○事務局

- ・ここで、本日配布させていただいている資料を確認させていただきたいと思います。

### ○配布資料の確認

- ・事務局より配布資料の確認を行った。

## (3) 委員紹介

### ○事務局

- ・今年度初めての公共交通会議ということで、新しく委員になられた方もいらっしゃるのので、ここで改めて委員の紹介をさせていただきます。

### ○委員紹介

- ・事務局より委員の紹介を行った。

### ○事務局

- ・それでは議事に入りたいと思います。議事進行については、女川町地域公共交通会議の設置要綱の第6条に基づき、会長が議長となり、議事進行をお願いしたいと思います。

## (4) 議事 ①町民バスダイヤ改正後の利用状況及びバス利用者アンケート調査結果について

### ○議長

- ・それではさっそく議事に入らせていただきます。まず、「①町民バスダイヤ改正後の利用状況及びバス利用者アンケート調査結果について」事務局の方から説明をお願いします。

### ○資料に基づき事務局説明

- ・事務局より町民バスダイヤ改正後の利用状況について説明した。

○議長

- ・今、事務局からネットワーク計画策定の経緯と策定した計画内容、これからのステップ1からステップ3までのお話がありました。この段階で、何か御確認・御意見があればお願いします。ここまでの説明に対しては、よろしいでしょうか。では、次の説明をお願いします。

○資料に基づき事務局説明

- ・事務局よりバス利用者アンケート調査結果について説明した。

○議長

- ・ありがとうございました。昨年9月からのダイヤ改正で、9、10,11,12と4か月間経ってみての利用人数、若しくはそれによるアンケート調査ということで色々な御意見が寄せられたということでございます。アンケートを取ったり、住民懇談会を開いたりということで住民ニーズを把握しながら、より良いと思って色々やってみたものの、実際に乗る人からは色々な意見が寄せられているということが事実のようでございますし、町内循環便、女川石巻仮設便とそれぞれ増減があるというようなことでございます。中には、イオンの中まで行ってほしいという御意見などもあるようですし、地域医療センターの利用がやはり多いのかなというふうに見受けられます。また、時間帯が合わないなどの御意見もありますが、町内全体的な部分での運行については4月から8月までの人数と比べると2便に増えたことでもあります、300人程多くなっているようです。ただ、1つわからない点がありますが、五部浦と北浦でそれぞれ運行実績では増員になっておりますが、アンケート調査結果のまとめの方では利用頻度が減ったと回答している方が多いので、その理由の説明をお願いできればと思います。

○事務局

- ・事務局の分析としましては、利用頻度が増えたという方にあまり書いていただけおらず、先ほど事務局の話にもあったように不満を感じている人がよりこの調査に協力されていて、そのまま意見が反映されてしまったのかなというふうに感じています。

○議長

- ・アンケート調査ではもう利用しないという回答が多い一方で、運行実績の中では北浦便と五部浦便は利用者の増加となっているわけでしょうか。

○事務局

- ・バス利用者の全ての方に配布はしたのですが、自宅に持ち帰っていただき、そこで記入していただき投函されているので、より不満を感じている方が多く回答されているのかなと分析しております。

○議長

- ・運行実績の人数とアンケート調査に基づく分析については、若干そういう意味で違いが出てくる

部分があるということです。今の説明の中で、事務局の方に確認しておきたいことなど、皆様から御意見・御質問等があればお願いいたします。

○委員A

・私は時々、宮ヶ崎の電力アパート前から町民バスを利用していますが、去年の9月から大変便利になりまして、地域の人たちは結構北浦便と町内便を利用している人が多くなりました。やはり今までは海岸通りが乗り降りするところだったのですが、それが今は電力アパートまで上がってきてもらうので、やはり利用度が多いのではないのかなと私は思っています。地域の人達も大変喜んでおります。ただ、今後は、道路が川尻の方面と旧第3保育所に上がる道路と二つあるのですが、工事の関係で川尻の方が通行止めになります。そうした場合、バスがUターンして戻ってくるのですが、上まで来てくれるのは、地域の人たちにすればぜひ来ていただきたいのですが、そのあたりはどうでしょうか。道路が1本になってしまいますが。

○議長

・バス停車場所が以前は遠い状況だったのが、住宅の近くに移動して、大分助かっており、利用人数も増えているというお話をいただきましたが、さらに、今度工事の関係で色々と支障が出てくるという点についてはどうでしょうか。

○事務局

・確かに今後、復興工事により、今現在2か所から宮ヶ崎地区に登っていく道路がありますが、それが一つ閉鎖して工事を進めていくとお伺いしております。仮に1本になったとしても、やはり宮ヶ崎地区の上まで車両の方は上って行くようにして、利便性を図っていききたいと思います。電力アパート付近で車を切り替えしするような形を考えておりますが、これにつきましては、運行事業者であります黄金バスと黄金タクシーの御協力をいただきながら、宮ヶ崎地区の上に入って行って、車もバックモニターも付いているということもありますので、極力行きたいなと思っております。

○委員A

・ぜひそのようにお願いします。

○議長

・その他、何か御意見等ございませんか。

○委員B

・運行実績をみると、五部浦便と北浦便で上り下りの数がかかなり違っており、上りの方が多くて下りの方が少なく、中心部方面に行く便しか使ってないという方がほとんどだと思われるのですが、この理由について、アンケート調査などから把握できることをお伺いしたいと思います。

○事務局

・この後の資料にも出てきますが、行きは朝の8時台に中心部に行く便を設置していますが、帰り

の便が午前中に戻って来れず、昼の便になってしまっています。昨年度に地域住民の方と話をした時に少し時間的に余裕をもって、たとえば病院に行ってからきぼうのかね商店街でご飯を食べて帰ってくるようなダイヤ設定にしていきたいという意見があり、それを踏まえて今年の9月にそのようなダイヤを設定していましたが、やはり実態としては、午前中に病院に行つて午前中に地区に戻りたいというニーズが高くなっておりまして、バスに乗って行かれているけれども、病院に行った後に送迎やタクシーを利用して帰られる現状になっていると分析しています。

○委員B

・その方々の意見は、時刻表の改定とか便数を増やすというところに繋がっていると思われませんか。

○事務局

・そうですね。地区に戻る便の時間帯をもう少し早くしてほしいというところだと思います。8時9時に中心部に行つて、12時過ぎくらいに戻れるというような便がほしいという御意見がアンケート結果にも出ているのかなと推測しています。

○議長

・その他なにかありますか。

○委員C

・石巻のイオンまで直行できなくなったという声がありますが、おそらくその方は、町内循環線を利用されており、現在、イオンまで行こうとすると、どこかで乗り換える必要があり不便を感じているということだと思います。これは、そのアクセスのため、接続時間などが不便だからという理由付けなのではないでしょうか。それとも乗換えそのものが面倒なのではないでしょうか。

○事務局

・その理由につきましては、今委員Cのおっしゃられた、どちらかというと後者の一度乗り換えすること自体に抵抗感があるのだと思います。確かに乗換えする時間がうまく接続できていない現状もありますが、やはり乗り換えすることに対する抵抗があるという認識でおります。  
・あと、補足的に、ミヤコーバスが運行されているので、直行したい場合はミヤコーバスを利用することも考えられます。町民バスだけで行こうとすると乗り換えが発生します。

○議長

・その他ございませんでしょうか。

○委員D

・自由回答を読んでもみると、良かったという意見と、両方と、悪いよという意見に分かれると思いますが、全部読まないとわからない状況です。ぱっと見ただけで良い意見なのか、両方なのか、反対の意見なのか、せつかくこのような立派な資料を作っていらっしゃるのだから、一目で分かりやすい区別がつけられていないと、一行一行全部読んで理解することが必要になるので、両方の意見、反対の意見、賛成の意見をそれぞれ切り分けていただくと、資料として見やすいと思います。

○事務局

- ・貴重な意見ありがとうございます。そのように改善してまいりたいと思います。

○議長

- ・きらら女川の狭い場所までワゴン車で行くようになりまして、町では薦めています、アンケート結果を見ると、誰も乗る人がいないということもあるようですが、実際はどうでしょうか。狭くて坂道だから上まで来てほしいという要望があって改善した経緯があります。

○委員E

- ・かなり道が狭いので対向車は来ないことが多いですが、1年を通して考えれば路面が凍結している場合もありますので、そういう場合は上で停めてきらら女川まで行き、乗務員が実際にお客様がいるかどうかの確認をする場面もこれまでありましたので、少し検討していただければと思います。
- ・通学で利用されている方が何名かいるようですが、実際、日中はあまりいないようですので、きらら女川のバス停だけまびき運行が可能なのかも検討が必要だと思います。クランクのかなり狭い道路ですのでかなり厳しいです。きらら女川がバス乗車場所になっているのですが、施設利用者の車があり、施設の中でUターンができないことがあったりします。

○議長

- ・ここまで来ていただき大変ありがたいという声があれば、運行を継続する方向でも良いかと思えます。

○委員E

- ・少し道路を広げていただければ問題は解消するのですが。それから、自由回答にもありましたが、イオンの中まで入っていただきたいという声は現場でも非常に多いです。やはり流留内田仮設からイオンまで200メートルから300メートルありますし、バス利用者は70歳以上の方が大半ですので、信号付の交差点はあるのですが、そちらまで行くと遠回りになるので危ないですが安全を見て横断する方もいらっしゃいます。事故に遭う危険性について乗務員から報告があっています。イオンの中に入れないのはなにか要因があるのでしょうか。

○事務局

- ・昨年度、計画を策定するにあたり、関係事業者の方にヒアリングをさせていただきました。イオンに訪問した中で店長に意見を伺い、イオンとしてはバスを施設内に付けていただくことは大賛成といいますか、歓迎をしたいということで、女川町ブースを店内に設けたりしても良いというお話をいただきましたが、一方で、女川町の商工業を考えた場合に石巻のイオンに流出してしまうことを考えると、難しいところがあります。イオン側よりは、町としての方向付けとしてもございます。

○議長

- ・できれば町内で買い物していただきたいということです。ただ仮設住宅が石巻市にもあるので、そこまではバスは運行していますが、イオンの中までということは厳しいというかできないと思います。
- ・きらら女川のところで凍結した時に途中で降りて運転手が見に行ってくれているというお話は大変ありがたいと思います。例えば、この地点からこの地点まで伸ばしたが、利用者が少ないなどの理由で間引き運行にするということは今後の運行の中では可能でしょうか。

#### ○事務局

- ・利用実態を見ながら、必要でないところはできれば間引いて運行していくことも必要ですし、逆にニーズの高いところにまわしていくということも、限られたバス車両や運転手という資源を最大限活用し、サービスを提供していくために検討していきたいと考えております。ただ、バイパスと国道の付け替えが始まったりする状況の中で、効率よく運行することが難しい状況が今後続いてまいりますので、その中でどのようにして運行していくかというのを、悩みながら、皆様には一部では御迷惑をお掛けしながら運行していくしかないと考えています。先ほどのイオンさんの前までという話しについては、今回、昔のデマンドではなく、町民バスとして、停留所を設けた中での定路線の運行を行っています。バス停車場所を基本に、バスの利用圏を考えながらバス停を設置していくことも、ひとつのバスの運行の基本的考えであります。バスの利用圏は、200メートル 300メートル 500メートルと一般論では位置付けられていますが、御高齢の方、特に後期高齢者 75歳以上になると、一般の成人の歩行速度の半分ですので、例えば一般の人が500メートルを歩く時間と御高齢者、特に後期高齢者が250メートル歩くことはほぼ同じ時間が掛かることとなります。そういう意味からも、300メートルくらいまでは我慢していただくということも、公共交通を運営していくうえでは必要なのだと考えているところでございまして、少し我慢していただき、一方では健康づくりのために少し歩いていただくということも含めて考えているところであります。

#### ○議長

- ・ありがとうございました。各委員からの異論はないと思います。公共交通のルールということもあるかと思いますが。その他何かありませんか。色々な視点からのお話しで結構です。

#### ○委員F

- ・先程の説明で離島の発着については平成27年度で考えるということでしたので、お話し申し上げませんでした。やはり離島の方々が船着き場に着いてから待つ時間がかなり長いという現状を皆様御承知だと思いますので、平成27年度での解決をよろしく願いいたします。アンケートにあるとおり、私も今まで2回程利用したことがあります。会話を聞いていますと、バスのおかげで知り合いの方に3年ぶりに会いましたなど、涙を流すような場面もありました。これが運行の狙いだと思いますのでこのような意見を最大限取り入れていただければと思います。今言いましたように離島の配慮を平成27年度でお願いしたいと思っています。それだけでございます。

#### ○議長

- ・ありがとうございました。離島の乗り継ぎについてはこの後の資料に出てくると思います。その他ございませんでしょうか。

○委員A

- ・今後、各停留所に待合室を作る考えはあるのでしょうか。地区でもそういう要望があります。

○事務局

- ・今現在の町民バスに関しましては、町の復興と合わせながら運行している状況です。今後、復興の状況と合わせながら続けていきたいと思っておりますが、最終的にどういった方法で運行した方が良いのかという部分で当然変わってくると思います。そういった中で、今現在、バス停留所が40か所ございますが、その全てに待合所を作るとなると、非常に厳しいところもあります。今後も復興状況を見ながら計画的に進めるというようなことも必要になりますので、今の状況で我慢していただければなと思います。よろしくお願いたします。

○委員A

- ・仮設的なものでも難しいでしょうか。

○議長

- ・委員Aがイメージしている待合室は、上屋が付いており椅子があるようなイメージでしょうか。

○委員A

- ・上屋が付いており、2人か3人程が入れて囲っているような形です。立派なものでも良いのですが。

○議長

- ・まずはバス停留所を設置して時刻表を表示することが今年度の取組みです。これからまちづくりが進むにつれて次の段階に入っていくと思いますが、補助金関係はどのような状況でしょうか。

○事務局

- ・今の委員Aからのお話は、ある程度の雨風を防いだような形での待合所ということかと思いますが、バス停車場所としている場所が全て町の土地ではなく、民間の土地を利用させていただきながら対応しているところもあります。今年度については、3月23日のダイヤ改正と合わせて、ミヤコーバスと同じようなバス停留所を国の補助金を活用して設置予定としています。中にはバス停の中に簡単な腰掛けを置いてほしいというような要望もあり、そういう部分に関してはある程度、対応させていただいているところですが、雨風を凌ぐような建物となると費用もかかる話で、土地の問題も解決しなければならないので、すぐには対応できない状況です。
- ・新しいものを作ることは難しい部分がありますが、ツルハドラッグの前にバス停車場所を設けたのは、1つには待合空間、最近は他の地域でも実施されていますが、コンビニエンスストアの近くにバス停を設けて、待ち時間をコンビニエンスストアで過ごすというような取り組みを始めている地域もあります。女川町はまだまだ復興を進めている状況なので、今後進めていく中で、新



しいバス停の位置について、店舗の庭先を借りるなどの対応も必要になってくると思います。

○議長

- ・議事①については、このあたりでよろしいでしょうか。それではこのアンケート調査結果については、皆様、御了解いただけたということで進めたいと思います。

(4) 議事 ② J R 石巻線女川駅開業に伴う町民バス運行ダイヤ等の変更について

○議長

- ・次に「② J R 石巻線女川駅開業に伴う町民バス運行ダイヤ等の変更について」事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・それでは引き続き、事務局から資料の説明をさせていただきます。

○資料に基づき事務局説明

- ・ J R 石巻線女川駅開業に伴う町民バス運行ダイヤ等の変更について説明した。

○議長

- ・ありがとうございます。春に女川駅が開業するということでそこからステップツーに入ります。それに合わせて道路工事により色々な道路の通行制限が出てきます。それに伴い運行ルートを変更し、離島航路発着所の駐車場所も変わります。旧第一小学校前と荒立西地区前は、住民からの要望が多いということで新たに追加となります。アンケート調査結果などを踏まえて、新しい運行ルートとダイヤで3月23日から運行していきたいというお話でした。只今の説明について、御質問・御意見等あればお願いします。アンケートの声として多い意見は、改善の部分に反映されていると考えて良いでしょうか。

○事務局

- ・特に離島航路発着所での待ち時間と、北浦便と五部浦便の話、こちらに関してはかなり要望も強かったので改善しております。他の点についてもアンケート調査結果や企画課の方に直接電話が入ったりなど、そういったところを踏まえて修正しております。

○委員 F

- ・離島の方は喜ばれると思います。今までは道路を横切って情報交流館まで行って待っていたそうです。そうすると高齢の方は危ないです。そういうこともありましてよかったなと思います。

○事務局

- ・補足になりますが、資料に「朝の時間帯のイオンスーパー石巻東店での買物時間を確保」ということで、先ほど駐車場所をイオンの施設内に設けて欲しいという話があり、それに対して、町の事情で設けることができないと説明しておきながら、買物時間を確保するという記載をしており矛盾があります。これについては、石巻バイパス仮設住宅の皆様から、かなり強い要望が寄せら

れています。好き好んで石巻市の仮設住宅に入っているわけではなく、女川町内の仮設住宅に入らず、女川町中心部まで買物に行くということは、商店も少ない中で現実的ではないということです。従って、イオンに行かざるを得ないという意見がかなり寄せられています。そういった要望が強いため、改善を試みて反映しています。運行見直し後の運行ルート図で赤いルートを見ていただくと、女川駅の開業後は女川駅を通過して、仮設庁舎の脇に道路がありますが、ここを上がってくる形になります。本日こちらの会場までお越しいただいた清水の道路は逆に通行できなくなります。そういった変化が今回はあります。その他にも7月位を予定しているという話ですが、国道を止めてバイパスが通行できるようになるなど、様々な変化があります。JRでも5月30日に仙石線全線開通という話があり、それに伴い、石巻線もダイヤ改正を行うという話があります。ミヤコーバスもJRに合わせてダイヤ改正を行うという話があります。今回は3月21日のまちびらきに合わせてダイヤ改正を行いますが、今後も色々な状況が出てくる度に、随時見直しをしなければならぬ状況にあることを付け加えさせていただきます。

○議長

- ・御配慮いただいた中での改正だと思います。今の話の中で、状況に合わせてその都度直していくということですが、あまりに変更の頻度が多いと乗る方もまたバスの時間が変わったのではないかということになりますが、基本的にはどのくらいの頻度になる予定でしょうか。

○事務局

- ・今のところ半年に一度程度予定はしております。できるだけ早めに町民の皆様には、変わる内容について広報してまいりたいと思っております。

○議長

- ・27年度においてもアンケート調査等を行うのでしょうか。27年度までは補助事業ということですが。

○事務局

- ・国の補助金は平成27年度まで延長していただいております。来年度が最終年度ということで当然活用させていただきます。そういった中で、住民のニーズというのを随時確認していきながら、それをダイヤに反映してより良い運行にしたいという思いがありますので、来年度も実施させていただきたいと思っております。

○議長

- ・ありがとうございました。よろしく申し上げます。只今の意見につきまして皆様からなにか御質問御意見ありましたらお伺いしたいと思います。

○委員E

- ・住民からの要望ということで、今、旧第一小学校前と荒立西地区前が追加されましたが、旧第一小学校前の下りは比較的侵入が容易くできますが、上りになると場所的に狭いので、以前は旧第一小学校のウサギ小屋があったところをスペースとして活用させていただいておりました。その

あたりについてはどうでしょうか。

○事務局

- ・委員Eの今の御質問ですけれども、教育委員会に確認をして御回答させていただきたいと思えます。この場での即答はできないということで御理解をいただきたいと思えます。申し訳ございません。

この旧第一小学校前のバス停でございますが、こちらの第一小学校仮設の住民の方々の声がございまして、9月の改正前までは第一小学校前に設けていましたが、ツルハドラッグにバス停が欲しいということで、近いこともあり、ツルハドラッグにバス停を置かせていただきました。ところが、仮設住宅にお住まいの方々には、足の不自由な方々もいらっしゃって、距離にして百数十メートルではありますが、他の仮設住宅には全部バス停あるのになぜここだけなくしたのかという切実な意見を突き付けられたということもございまして、今回、以前設けていたということもあり、旧第一小学校前を復活させたいというところ です。

○議長

- ・その他にあればお願いします。よろしいでしょうか。では、議事の進行を事務局にお返しします。

(5) その他

○事務局

- ・「新生女川3月21日(土)まちびらき」と記載のチラシをご覧ください。先ほどから申し上げていますが、JR石巻線が全線運転再開します3月21日は「女川復興まちびらき2015春」ということで、記念式典も行われます。翌日には復興祭も予定されています。女川駅周辺マップということでチラシ中央に記載していますが、3月21日の段階では、JR女川駅、女川温泉ゆぼぼが完成致します。資料の左端に記載の「フューチャーセンター」が3月28日にオープン予定です。あがいんステーション、地域交流センター、テナント型商店街、物産センター、こういった施設は10月～11月位のオープンになります。最後にA4版の写真を添付していますが、これは現在の女川駅周辺の工事状況です。まだまだ土が見えていて、本当に3月21日にこういった形になるのか、私共も不安に思っていますが、是非、皆様3月21日にこの状況がどう変わっているのかをお楽しみにしていただき、3月21日の記念式典にお越しいただければと思えます。まちびらきに関する情報提供をさせていただきました。

(6) 閉会

○事務局

- ・それでは皆様、長時間に渡る議論、お疲れ様でした。本日ご承認いただいた内容を踏まえて、3月23日から新しいルートとダイヤで、町民バスを運行していきたいと思えます。また、本日の会議の結果については、要綱に基づき、女川町のホームページに掲載させていただきたいと思えますので、この場で御了承をお願いしたいと思います。以上をもちまして、平成26年度女川町地域公共交通会議の一切を終了させていただきます。ありがとうございました。